

発災から4ヵ月後の状況 <上下水道>



<断水の状況>

【最大】16市町 約11万戸 (1/1) ⇒ 【現状】3市町 約4,460戸 (4/23)
※5市町 約7,860戸 (3/29)

上水道：環境政策課 076(225)1463
下水道：生活排水対策室 076(225)1493

応急復旧の状況

市町	上水道		下水道
	4/23断水状況 ()は3/29時点	今後の復旧の見通し	今後の復旧の見通し
輪島市	約1,420戸 (約2,600戸)	4月から5月末に (立入困難な地域等、一部地域は5月以降)	断水解消 に合わせて復旧
珠洲市	約2,830戸 (約4,250戸)	〃	
能登町	約210戸 (約800戸)	4月末	<div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> 集落排水や コミュニティプラントなど についても断水解消 にあわせて復旧予定 </div>
七尾市	— (約160戸)	(断水解消)	
内灘町	— (約70戸)	〃	



仮設水道管の設置 (輪島市内)



仮設水道管の設置 (珠洲市内)



バキューム吸引 (珠洲市内)

○上水道の断水が解消しても、宅内の水道管等で漏水している場合は、建物の所有者が工事業者に依頼して、修繕していただく必要があります (参考) 県内各市町の指定する給排水工事業者一覧を県HPで掲載 →



⇒ 引き続き、「上下水道一体」で一日も早い応急復旧を目指す

※国・日本水道協会・全国の自治体など延べ7万人超の応援協力により、鋭意、修繕作業を実施

発災から4ヵ月後の状況 < 応急仮設住宅① (供給実績) >

- 現在 (4月25日) <着工> 5,530戸、<完成> 2,763戸 必要戸数の5割強 建築住宅課 076(225)1775
- 4月末までに <着工> 5,687戸、<完成> 3,368戸 (見込み) ⇒ 完成目標 3千戸達成

構造	プレハブ	木造	
概要	迅速かつ大量に供給し、避難生活を早期解消するもの	市町有住宅に位置づけることで、恒久的な住まいとすることが可能	
入居期間	原則2年間 (状況により延長)	原則2年間 (2年後市町有住宅へ転用等)	
場所	市町有地、学校グラウンドなど	従前のお住まいの近く	
外観		長屋 (まちづくり型)	戸建風 (ふるさと回帰型)
着工数 (4月末見込み)	4,340戸	1,341戸	6戸
完成数 (4月末見込み)	3,268戸	100戸	-

木造住宅は全体の 24% (熊本 16%)

発災から4ヵ月後の状況 <応急仮設住宅②>

まちづくり型
南志見地区



第1号
4月30日完成予定

外壁や床材など県産木材を活用し、黒瓦屋根を採用するなど、周辺の景観に調和した住宅

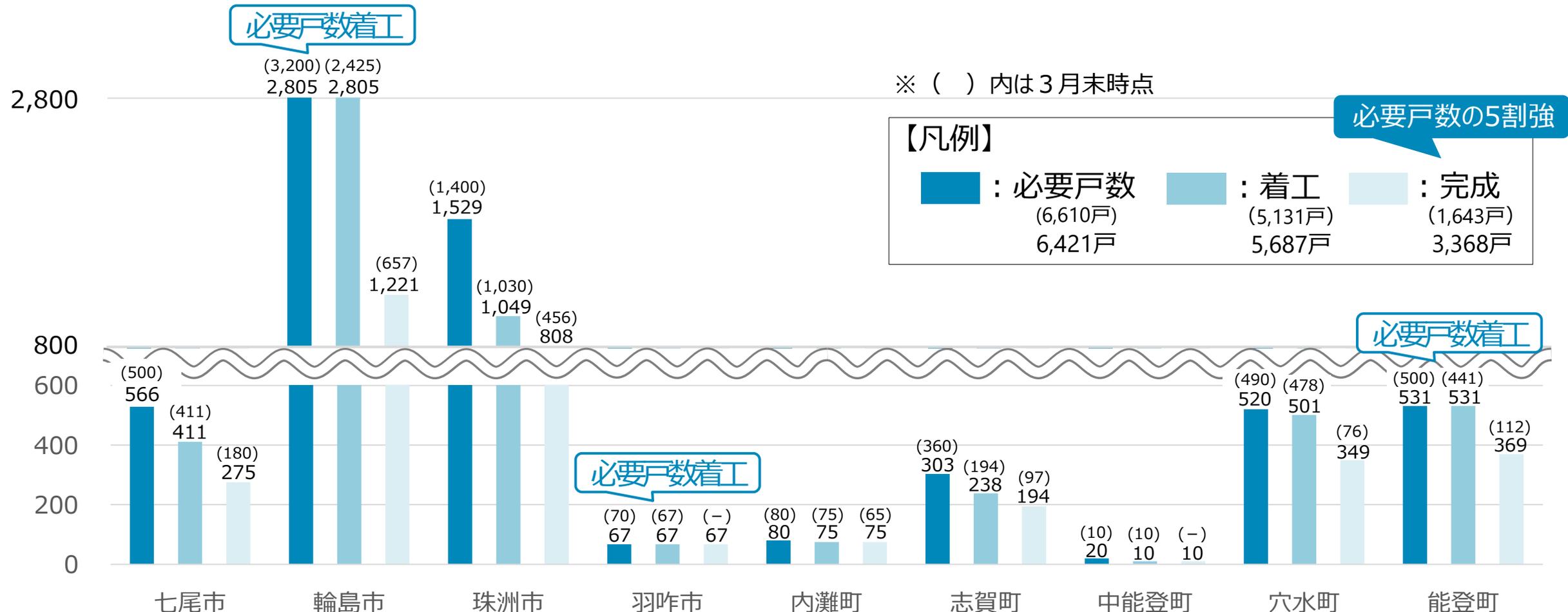


発災から4ヵ月後の状況 < 応急仮設住宅③ (必要戸数) >

○ 市町と連携し、現時点 (4/25現在) での応急仮設住宅の**必要戸数**を精査

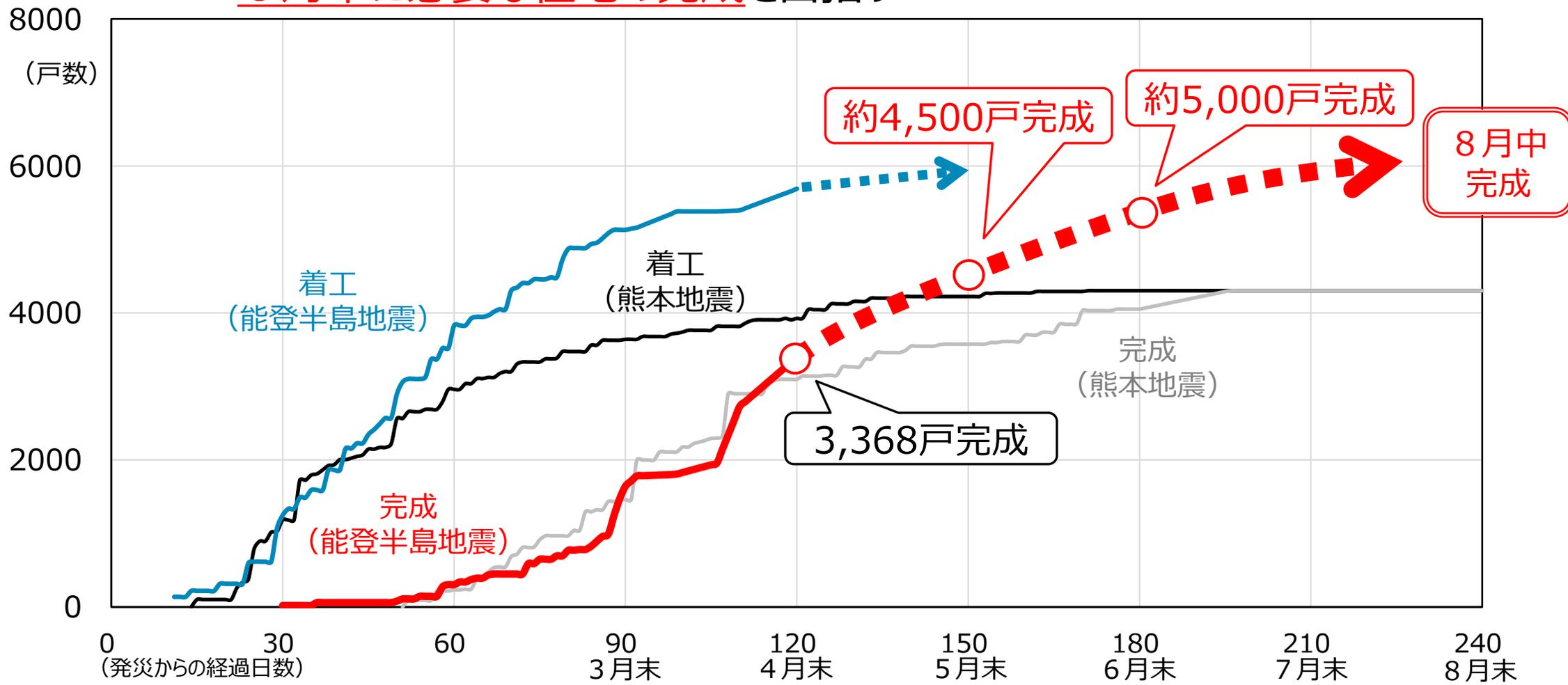
〔必要戸数〕 8,480戸 (1月末時点) → 6,610戸 (3月末時点) → **6,421戸** (現時点)

〔現時点の必要戸数と4月末の着工・完成見込み〕



発災から4ヵ月後の状況 < 応急仮設住宅④ (供給計画) >

- 新規着工については、市町と連携し、引き続き、必要戸数を精査しながら進める
- 完成ベースでは、5月末までに 約4,500戸 (必要戸数の7割程度)
6月末までに 約5,000戸 (必要戸数の8割程度)
8月中に必要な住宅の完成を目指す



発災から4ヵ月後の状況 <災害廃棄物>



災害廃棄物は主に2種類



- ・被災家屋内にある家具などの「片付けごみ」
- ・被災建物の解体・撤去で生じる「解体ごみ」

仮置場への搬入台数

被災された家庭などでの片付けに合わせ、各市町に仮置場を設置し、
これまで約26万台が搬入し、約3万8千トンのごみを受入・処分



災害ボランティアの支援も受け、「片付けごみ」の処分をさらに進めるほか、
今後は、被災建物の解体・撤去（公費解体）で生じる「解体ごみ」の処分にも注力



発災から4ヵ月後の状況 <公費解体① (現状) >

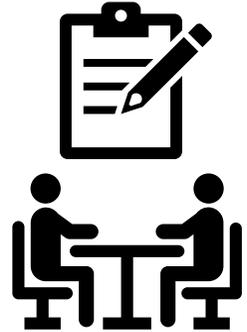
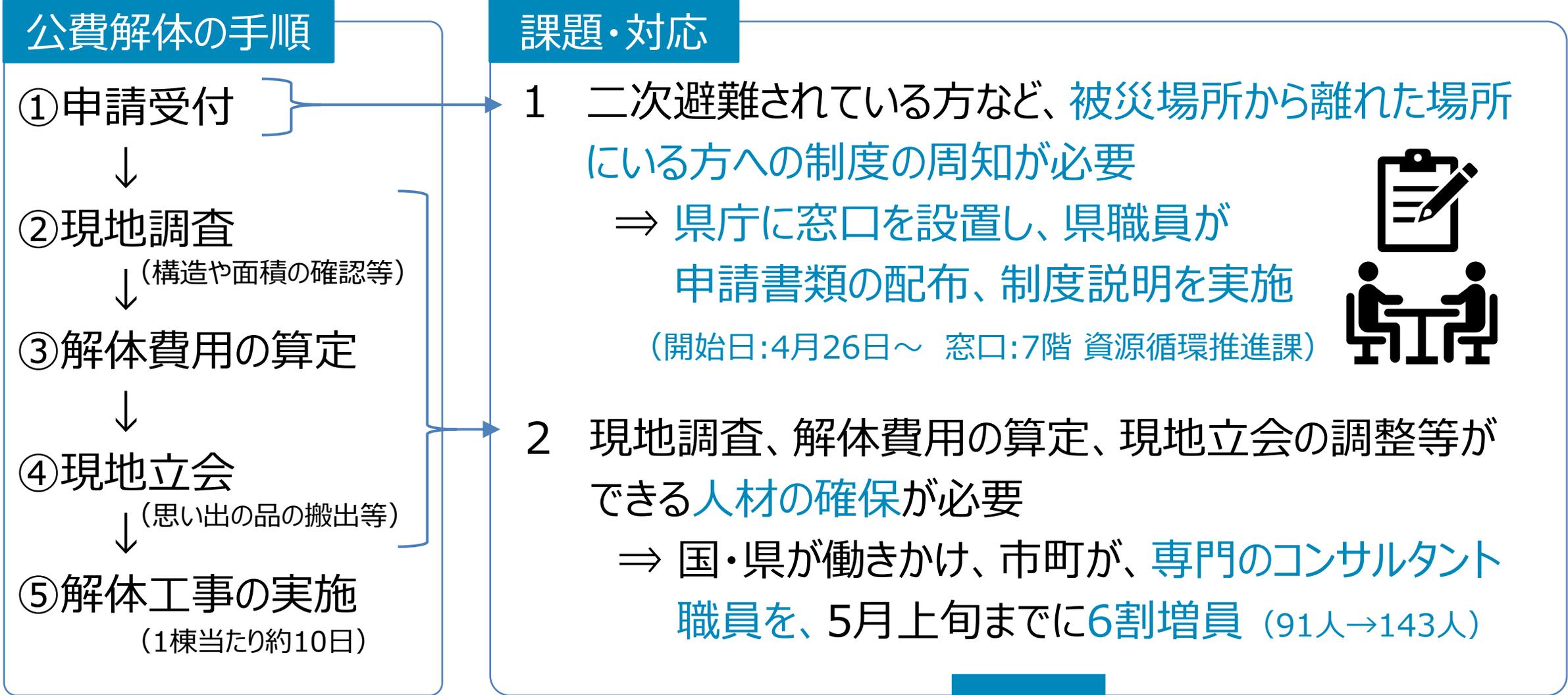
○1日あたり 500～600班体制 の解体事業者を確保 (4～5人/班)

○現時点で16市町で 8,528棟 の申請があり、244棟 解体着手、88棟 解体完了

◆公費解体の状況 (4/22現在)

市町	申請受付	申請棟数	解体着手棟数 (完了棟数)			(参考)
			公費解体	緊急解体	合計	自費解体※
珠洲市	3/25～	1,373		77(16)	77(16)	
輪島市	4/ 1～	1,703		118(54)	118(54)	
能登町	2/13～	540	4(3)	2(2)	6(5)	
穴水町	2/28～	1,352	30(6)		30(6)	2
志賀町	3/16～	1,433		9(3)	9(3)	
七尾市	3/ 1～	1,294				19
その他		833		4(4)	4(4)	22
16市町 計		8,528	34(9)	210(79)	244(88)	43

※市町から所有者等に費用償還される自費解体の申請棟数



令和7年10月の解体完了に向け、国（環境省）とも協力し各市町の取組みを支援

県立音楽堂の新たな役職の設置

開館以来、様々なジャンルの音楽に対応するため、洋楽・邦楽の監督を設置
洋楽監督：池辺晋一郎氏（H16～） 邦楽監督：野村萬斎氏（R3～）

➡ 和洋のコラボレーションや創造的な公演が充実してきたことを踏まえ、国民文化祭のレガシーとして、県立音楽堂事業のより一層の充実を図り、国際的な発信力も強化するため、新たな役職を設置（4月29日付）

洋楽監督

⇒エグゼクティブ・ミュージック・ディレクター



池辺 晋一郎 氏
(いけべ しんいちろう)

<役割>
洋楽にとどまらず、音楽事業全般に対し、高い視点からご指導いただく

©東京オペラシティ文化財団 撮影:武藤章

邦楽監督

⇒アーティスティック・クリエイティブ・ディレクター



野村 萬斎 氏
(のむら まんさい)

<役割>
多彩なジャンルにおける自由で創造的な事業の企画に携わっていただく

4月28日(日)より、「**ガルガンチュア音楽祭**」が開幕

今回は、復興支援として入場料収入の5%を義援金とします。音楽祭を通じて能登の応援をお願いします。

GW期間中の県内宿泊施設・交通機関の予約状況



地震や北陸応援割、新幹線敦賀開業など様々な要因により、予約状況にバラつき

○宿泊施設のGW予約状況 (4/27(土)~5/6(月祝))
(石川県文化観光スポーツ部調べ 4月22日現在)

	客室稼働率	前年比
主要5温泉地	63.3%	▲2.5ポイント

(主要5温泉地：山中、山代、片山津、粟津、湯涌)

○兼六園の外国人観光客数 (3月)
(金沢城・兼六園事務所調べ)

	R6.3月	前年比
兼六園 外国人観光客数	45,478人	229%

○列車のGW予約状況 (4/26(金)~5/6(月祝))
(西日本旅客鉄道株式会社 4月12日発表)

	予約席数	前年比
北陸新幹線 (かがやき・はくたか)	155千席	115%
サンダーバード号	67千席	98%
しらさぎ号	12千席	57%
3方面合計	234千席	104%

○航空便のGW予約状況 (4/27(土)~5/6(月祝))
(日本航空北陸支店、全日本空輸金沢支店 4月19日発表)

	予約席数	前年比
小松-羽田便	21,771席	85%
(日本航空)	12,203席	78%
(全日本空輸)	9,568席	97%
能登-羽田便 <small>往復2便/日(昨年) →往復1便/日(現在)</small>	1,562席	51%

GW期間中に、県内各地で企画されている様々なイベントや祭りに積極的にご参加いただくとともに、**能登のために、応援消費などの支援**もお願いします **ボランティア活動にもご協力を**